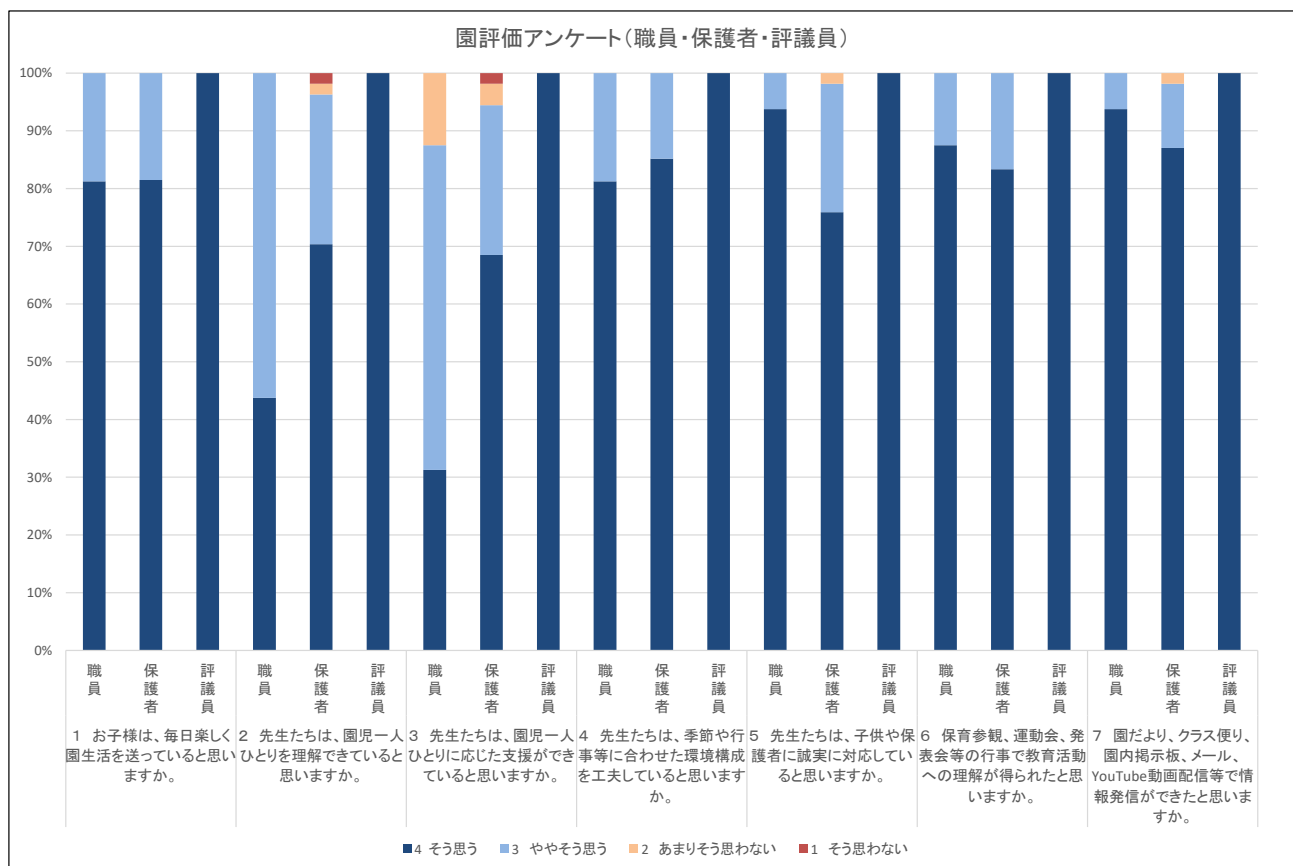


令和6年度 園評価(保護者・職員・評議員)アンケート 宇土市立花園幼稚園

評価項目	評価者	4 そう思う	3 ややそう思う	2 あまりそう思わない	1 そう思わない
1 お子様は、毎日楽しく園生活を送っていると思いますか。	職員	13	3	0	0
	保護者	44	10	0	0
	評議員	3	0	0	0
2 先生たちは、園児一人ひとりを理解できていると思いますか。	職員	7	9	0	0
	保護者	38	14	1	1
	評議員	3	0	0	0
3 先生たちは、園児一人ひとりに応じた支援ができていますか。	職員	5	9	2	0
	保護者	37	14	2	1
	評議員	3	0	0	0
4 先生たちは、季節や行事等に合わせた環境構成を工夫していると思いますか。	職員	13	3	0	0
	保護者	46	8	0	0
	評議員	3	0	0	0
5 先生たちは、子供や保護者に誠実に対応していると思いますか。	職員	15	1	0	0
	保護者	41	12	1	0
	評議員	3	0	0	0
6 保育参観、運動会、発表会等の行事で教育活動への理解が得られたと思いますか。	職員	14	2	0	0
	保護者	45	9	0	0
	評議員	3	0	0	0
7 園だより、クラス便り、園内掲示板、メール、YouTube動画配信等で情報発信ができたと思いますか。	職員	15	1	0	0
	保護者	47	6	1	0
	評議員	3	0	0	0



<考察>

- ・保護者評価では、2番3番の設問についての厳しい評価が1～2件あることは重く受け止め、今後も幼児理解に努め、一人一人に応じた適切な支援ができるよう全職員で共通理解・共通実践に努めていきたい。本園の教育については、概ね賛同していただけていると理解している。
- ・今後も、現状維持ではなく、新しいことにチャレンジしながら、よりよい保育環境を創り上げていきたい。
- <評議員会の意見>
- ・高評価を得ているのは、日頃のきめ細かな配慮の行き届いた保育の賜物である。是非、努力を惜みず今後も続けていってほしい。
- ・昨今公立幼稚園の数が減っていくのが寂しい。花園幼稚園も年々園児数が減少しているとのことだが、公立のよさである「いい意味で、フラットで色のない教育」を続けてほしい。
- ・幼稚園(文科省)、保育園(厚労省)では、やはり違いがあると思う。自然に親しみ、充実した人的物的環境での幼稚園教育の重要性は今後も大切にされるべきである。
- ・多彩な季節的行事やイベントがあるが、幼児期の子どもたちにとっては本当に貴重な体験になる。小学校では、なかなか取り組めないのだからやまじいと思う。
- ・会計年度任用職員も含めて全職員で、「幼児理解や特別支援教育、主体的な保育」等についての研修ができていることが素晴らしい。小学校では、勤務シフト等の都合で一堂に会しての研修が難しい。
- ・小学校との連携で、1年生と年長との「おみせやさん」(小学校体育館)、4年生と年長との「おもちゃランド」(幼稚園ホール)の取組は今後も続けていく。
- ・最近小学校の学級懇談への参加者が減少しているが、幼稚園では、クラス懇談や個人懇談が計画的に設定されているとのこと、保護者の参加が多いことは園経営に大きなメリットがあると思う。